

行事報告

ザ・シンポジウムみなと in 函館

「ザ・シンポジウムみなと」実行委員会

「ザ・シンポジウムみなと」は地域の発展の核となる港湾について、様々な立場から北海道港湾の将来方向に関するご意見をご紹介いただき、道民の方々に港湾の重要性や必要性を理解してもらうとともに、広く港湾をPRすることを目的として主に道内主要港湾所在地において開催してきました。

平成28年度の「ザ・シンポジウムみなと」は「クルーズ振興 ～マチナカにクルーズ船がやってくる～」をテーマに約250名の参加により、1月21日(土)函館アリーナにおいて開催されました。

はじめに、主催者代表として、「ザ・シンポジウム

みなと実行委員会」の川合委員長、つぎに開催地代表として、工藤函館市長、ご来賓として前田一男衆議院議員のご挨拶をいただきました。

その後、オープニングイベントとして遺愛女子高等学校吹奏楽局によるブラスバンド演奏の後、クルーズライター上田寿美子氏から「クルーズの魅力とおもてなしへの市民参加」のテーマで基調講演をいただきました。

基調講演では①海外及び国内クルーズ船の現状、②国内寄港地におけるおもてなし事例、③高校生による通訳ボランティアをはじめとする函館港におけるおも



開催挨拶 川合委員長



開催地代表挨拶 工藤函館市長



ご来賓挨拶 前田一男衆議院議員



ブラスバンド演奏 遺愛女子高等学校吹奏楽局

てなしの特長等に触れ、最後に「函館港若松地区における計画もあり、これを機にぜひ、クルーズにお出かけください」との話がありました。

基調講演の後、「函館港若松ふ頭を拠点としたクルーズ振興」とのテーマでコーディネーターに(株)日本海事新聞社編集局取材部長 沖田一弘氏、パネリストに函館市長 工藤壽樹氏、クルーズライター 上田寿美子氏、函館朝市協同組合連合会理事長 井上敏廣氏、NPO 法人スプリングボードユニティ 21 理事長 折谷久美子氏、(株)JTB 北海道函館支店長 高田 悟氏及び北海道開発局港湾空港部長 笹島隆彦氏によるパネルディスカッションが行われました。

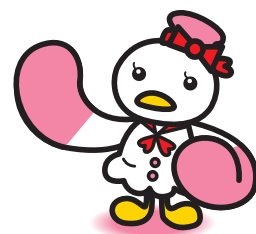
はじめにコーディネーターから①函館を訪れる乗船客にどのようにしたら楽しんでもらえるか？②函館に寄港するクルーズ船を増やすには何をすべきか？③クルーズ船寄港に伴う経済効果、④函館市民にクルーズ船に乗船していただくには何をすることが必要か？の4項目について意見交換したい旨の話があり、その後、各パネリストからのご発言をいただきました。

発言の中では JR 駅、函館朝市から近距離にあるこ

との優位性、地元の方々との交流、食のおもてなしの重要性、他港との差別化等、数多くの提言がありました。

最後に工藤函館市長が若松ふ頭を拠点としたクルーズ振興に取り組んでいくこと、年間 70 隻の寄港を目標とする抱負を話され終了しました。

なお、当センターホームページには開催報告とともに「パネルディスカッション」の動画を掲載しています。また、詳細につきましては「海と港」第 35 号に掲載いたします。



基調講演 上田寿美子氏



パネルディスカッション

